

キャリアコンサルティング技能検定2級 学科・論述・面接試験 合格体験記

2021年9月24日

2級受検番号 NO 02S3510068 氏名 M.E (青森県 在住)

■ 2級技能士を目指したきっかけ
約4年半前に国家資格キャリアコンに合格した時は、2級技能士を受検する気持ちは全くなかったのですが、3年前に職場の研修で2級技能士に合格した方、受検している方と話す機会があり、話を聞いている中で自分もチャレンジしてみようかな?という気持ちが高まってきたので、熱が冷めないうちにすぐに2級技能士の受検申込みをしました。
■ 当初の勉強法
他社の試験対策パッケージを購入したり、面接試験対策講習に参加して、ほぼ単独で勉強していました。
■ 合格のきっかけ
4回目の受検がコロナウイルスの影響で中止になったことでモチベーションが下がってしまい、どうやって勉強すればよいのかわからず行き詰っていた時に、「2級実技試験(論述・面接)合格バイブル」の本を見つけて購入し、こちらの会の存在を知り、「コツコツゼミ」を受講しました。「コツコツゼミ」で技能検定試験の細目を熟読することの必要性を痛感したこと(それまではほとんど読んでいませんでした)、そして面接試験対策の考え方を改めたこと(後述)が、合格のきっかけになったと思っています。
■ 学科試験対策
「キャリアコンサルティング理論と実際」(木村周 著)を一通り読みながら、過去問をひたすら解いて、間違えたところはノートにまとめて読み返していました。学科試験は1回目(第21回)で合格しましたが、その時の試験問題に過去問と全く同じ問題・選択肢が2~3問ほどあり、確実に正解できました。
■ 論述試験対策
「コツコツゼミ」のレジュメや「2級実技試験(論述・面接)合格バイブル」の本とDVDを繰り返し見て、逐語記録の中のキーワードやシステムティックアプローチのプロセスを意識して書くことを心掛けました。試験当日は3色フリクションボールペンを使って、繰り返しの言葉は青ペンで、感情の言葉は赤ペンで線を引いていました。色を変える時にペンの持ち替えをする必要がないので、ほんの少しですが時間を有効に使う手段になったかなと思います。
■ 面接試験対策
「コツコツゼミ」を一緒に受講した仲間たちと個別にZoomでロールプレイング練習をしたり、「コツコツゼミ」講師との個別レッスンを受講して、自分の足りない点や改善すべき点などを指摘していただいたことで、面接試験でCC役としてどう対応すべきか、考え方が大きく変わったことを自分でも実感できました。また私は評価区分のうち「基本的態度」と「関係構築力」はいつも合格点に達していたものの、「問題把握力」と「具体的展開力」が未達だったので、「問題把握力」と「具体的展開力」の点数を上げることを中心に勉強してきましたが、以前他社の講習で「基本的態度から具体的展開力までだんだん点数が下がっていく。基本的態度より具体的展開力の点数が高くなることはほぼあり得ない。」という話を聞いたことを思い出し、「問題把握力と具体的展開力の

点数を上げるためには、基本的態度と関係構築力の点数をもっと上げることだ。そうすれば自然の流れで問題把握力と具体的展開力の点数も上がるのでは？」ということに気付き、考え方を改めて「基本的態度」と「関係構築力」の点数を上げることを意識して勉強しました。その結果、今回の試験で「基本的態度」と「関係構築力」の点数が上がったとともに、「問題把握力」と「具体的展開力」の点数も上がり合格点に達することができました。

■受検される方へメッセージ

私の場合、過去4回の面接試験のCL役が全て同じ中年男性の方で、試験待機の時点で苦手意識が先走ってしまい、面接試験中もCL役に流れを引っ張られてしまって思うようにできなかった、という特殊な事情もありました。

今回はようやくCL役が別の方だったので、初心に戻って落ち着いて面接試験をすることができました。CL役との相性も合格の要因の一つだと思いますが、こればかりは自分で選ぶことができないので、過去の失敗に捉われずに毅然とした態度でCL役の話聴くことが、試験に限らずCCとして必要なことだと強く実感しました。

また私は5回目の受検で合格できましたが、途中で諦めることなく頑張ってきたのは、「コツコツゼミ」で知り合った仲間たちと切磋琢磨しながら勉強することができたからだと思います。試験勉強に行き詰った時は1人で悩まず、同じ目標に向かって頑張っている仲間と、いろんなソースを活用して励まし合いながら頑張ってください。